

# きたもと掲示板

新型コロナウイルス感染症により、掲載記事の内容が変更になる場合があります。

## 第30回記念「満点展」

9月27日(火)～10月2日(日)  
初日12:00～最終日16:00まで  
場文化センター 内/バスルと点描の絵画展示  
満点(峯岸 ☎090-2638-2548)

## 募集

### キッズジャズダンス Dance UZUME project

毎月3回、火曜日 18:00～19:00  
場中丸公民館 小学生  
費体験無料、会費4,000円/月  
場 DanceUZUMEproject(ムカサ ☎080-5057-2772、E poi.yuyupon@gmail.com)

### ジュニアオープンステージ in きたもとの参加団体

令和5年1月22日(日)  
場文化センター  
内/ダンス、新体操、よさこいなど  
市内中心に活動する幼児～高校生の団体  
費舞台3,000円/20分、展示200円/1パネル  
場 9月25日(日)までに北本市青少年育成市民会議(樋田 ☎090-8039-4857)へ電話。

## 埼玉の出版社 「まつやま書房」と語る会

9月25日(日) 13:30～15:00  
場文化センター  
内/郷土の本について語る  
定30人(先着順) 費無料  
場 9月7日(水)から北本図書館友の会(高田 ☎592-1019)に電話。

## 絵本の公開学習会

9月30日(金)、11月11日(金)  
各日10:00～11:45  
場文化センター 費無料 他要申込  
場 北本子どもの本を楽しむ会(藤山 ☎591-6997 E kodomonohon41@gmail.com) ※保育希望者は1週間前までに連絡。

## 第13回 健康気功体操 & 太極拳体験講座

10月の毎週金曜日  
15:00～16:00 気功体操  
16:00～17:00 太極拳  
場 体育センター  
費 1,500円(全体験合わせて)  
場 北本太極拳サークル(福田 ☎090-3594-9590)

## 開催

### 北本中央緑地自然観察会 小さい秋を見つけよう!

9月24日(土) 10:00～12:00  
場 高崎線第一下原踏切の西側 費無料  
場 NPO 法人北本雑木林の会(白川 ☎593-0448)

### フォトクラブ遊写・写真展 私たちが見たベトナム・ラオス

9月27日(火)～10月1日(土)  
9:00～17:00 最終日は11:00まで  
場 市役所  
場 フォトクラブ遊写(田沼 ☎080-1149-6833)

### 行政書士相続等無料相談会

10月9日(日) 10:00～16:00  
場 文化センター  
内/①相続・遺言・贈与 ②土地・建物 ③権利・義務 ④法人設立 ⑤外国人 ⑥その他許認可申請  
場 埼玉県行政書士会鴻巣支部(大竹 ☎090-9849-5844 ※密を避けるため要予約)

広報きたもと8月号に掲載した「藤秀会 民謡、三味線無料体験」の問い合わせ先に誤りがありました。誤)内田 ☎080-6876-7130 正)内田 ☎080-6896-7130 お詫びして訂正いたします。

## まちの話題

### 1 北本自然観察公園がホタル名所ランキングで日本一を獲得



市の昆虫「ヘイケボタル」について  
ヘイケボタルはホタル科の甲虫で、埼玉県のレッドデータブックに掲載される準絶滅危惧種。低地から低山の湿地に生息し、大きさは約1cmと小さい。平野部の開発が進むためか、最近ではゲンジボタルよりも減少傾向が強く、大宮台地で唯一多産する北本自然観察公園は、とても貴重な生息地となっています。

市の昆虫「ヘイケボタル」を観察できる北本自然観察公園が、ウェザーニューズ「全国のホタル名所ランキング」で一位を獲得(※)しました。6月中旬～8月下旬の観察シーズン中は、多くの方が来場し、豊かな自然環境でホタルの幻想的な光を楽しみました。(※) 出典元: ウェザーニューズ「ほたる情報」(ランキングはアクセス数に応じて日々更新されています。)

## 連載第5回

# 石戸蒲ザクラ国指定一〇〇〇年

蒲ザクラは今もなお人々を引き付けます。その魅力は、やはり古木ならではのこつこつとした樹皮の様子や、初春の青空によく映える白い花弁、といった蒲ザクラの姿にあるのではないのでしょうか。樹のすぐ下まで近づける点も人気です。

## 観光資源としての蒲ザクラ

蒲ザクラは市内で最もよく知られた名所であり、開花期には県外からも多くの人が訪れます。近年では外国から団体が訪れることも珍しくありません。

江戸時代には既に文化人たちに知られていた蒲ザクラは、大正11年に天然記念物に指定されたことで、さらに有名になります。地元では青年団を中心に蒲ザクラへの案内表示や記念絵葉書が作成され、おもてなし処なども設けて観光客を迎えていました。蒲ザクラの注目度の高さは、当時の記録からも知る事ができます。昭和5年には百貨店「名古屋松坂屋」から桜の展示会を行うための写真と解説の提供を、昭和12年には当時の鉄道省から全国向けの観光ガイド作成のための資料提供を依頼された記録が残っていて、蒲ザクラは戦前から有名な観光スポットだったことがうかがえます。



見学者でにぎわう様子(令和4年)

## 川島つゆさんの「蒲櫻行」

大正13年の春、作家の川島つゆさんが、蒲ザクラを訪れた様子を「蒲櫻行」と題し書籍『武蔵野』に残しています。「…(蒲ザクラの樹下で)駄菓子と麦酒を売って居た。一行より先に二三の観光客があった。ゆで玉子はもうおしまいにしました。と云う。何か昼飯に代るものと聞けば、餡パン位なものですと答える。…」  
こうしたゆつたりとした雰囲気、今も変わらずに残されていることも、蒲ザクラの大きな魅力です。



昭和初期の絵はがき

文化財保護課文化財保護担当(☎594・5566)

市内のグルメ情報は市観光サイト「きたこれ」から▶



## 目で見て、舌で味わい、心で楽しむお弁当

北本市市民リポーターの奥村です。  
先日、「爽愛"sou"」のわっぱ弁当をいただきに、シェアキッチン「ケルン」へ伺いました。ケルンさんではスペースの貸し出しを行っているため、日替わりでさまざまなお店が出没しています。  
爽愛さんは、今年の4月からスタートしたわっぱ弁当のお店です。オーナーの山脇さんは昔から料理をするのが大好きで、「色んな人に自分の料理を食べてもらい喜んで欲しい」という思いでお店を立ち上げたそうです。



爽愛さんのわっぱ弁当といえば、色とりどりのお野菜中心のオリジナルデリ! 見ているだけで心が躍ります。メニューには旬の野菜を使用し、味や色が重ならないように考えているそうです。  
この日の山脇さんの一押しは「夏野菜の揚げ浸し」のナス。味がしっかり染み込んでいてとても美味しかったです。  
私のお気に入りのはだし巻き卵! おだしが効いていて、何個でも食べられそうでした。

市内には魅力あふれる飲食店がたくさんあります。Instagramなどで情報発信されているお店も多いので、是非訪ねてみてください。



Instagram  
爽愛"sou": [@\_\_\_\_sou\_]  
シェアキッチンケルン: [@\_tsumiishi\_]

## 市民リポーター



奥村鈴奈さん